

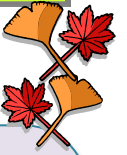
家畜衛生広報



ながの

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Facs.026-227-2665
E-mail: nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

鳥インフルエンザの防疫対策は万全ですか



10月15日、安曇野市の犀川で白鳥が飛来したことが確認されました。

いよいよ、鳥インフルエンザが心配になる季節が到来しました。

ロシア・東アジアの国々では、高病原性鳥インフルエンザが継続発生しており、本年4月には、熊本県で我が国では3年ぶりとなる高病原性鳥インフルエンザ(H5N8)の発生を確認しました。

鳥インフルエンザは、野生鳥獣、場合によっては人を介して農場に侵入します。本病の侵入防止のため、**飼養衛生管理の再確認**をお願いします。

なお、長野家畜保健衛生所では、10月から11月にかけて、家きんを100羽以上又は生産物(鶏卵等)の販売目的で飼育をしている施設を対象に巡回(衛生管理のチェック)を行っていますので、ご協力ください。

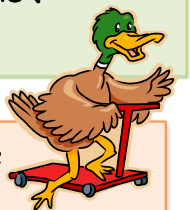
<鳥インフルエンザ侵入防止のポイント>

- ① 野生動物の農場侵入防止対策の徹底を。防鳥ネットに破れがないか再点検しましょう。
- ② 農場入口での車両消毒、畜舎入口の踏込消毒槽の設置など、病原体の侵入防止を図りましょう。
- ③ 鳥インフルエンザの発生国の渡航や渡り鳥の飛来地への訪問はやめましょう。
- ④ 海外からの渡航者を最低1週間は鶏舎には立ち入らせないでください。
- ⑤ 家きんの健康管理の徹底をお願いします。

毎日、家きんを観察し、死亡羽数が増加した(5羽以上、通常の2倍以上)場合には、直ちに家畜保健衛生所に連絡してください。

海外のトピックス

韓国で3月にGPSを装着したマガモがHPAI発生地から飛来



韓国は、過去5回発生した高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)が発生国を経由した渡り鳥から感染したものと分析、渡り鳥の移動経路等を把握するため、今年3月、忠清北道に飛来したマガモにGPSを装着しました。

10月19日、GPSを装着したマガモが、9月にHPAI(H5N6)の発生が確認された中国黒龍江省(6月~10月)、韓国慶尚北道(10月)を経由して、最初の装着地である忠清北道に戻ってきたことを確認しました。このため、韓国政府は、国内の家きん飼育農家に防疫強化を指示しました。

問い合わせ・連絡先 長野家畜保健衛生所(担当:神田章、小林千恵)

電話:026-226-0923 ファクシミリ:026-227-2665 E-mail:nagakachiku@pref.nagano.jp

